

---

# 「ごめん。～届かなかった手紙～」

Hikari

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

「ごめん。 届かなかった手紙」

### 【Nコード】

N1851C

### 【作者名】

H i k a r i

### 【あらすじ】

主人公ゆみに突然、母の死が訪れる、父とゆみの、心に距離が空いてしまう。成長とともに、父の自分への、愛情に気付くゆみ。二人の離れていた心の隙間は、次第に、埋ってゆく。ゆみ自身も、子供を産み、親の子に対する、気持ちを知る。父の愛を、理解する事の出来たゆみの心境は、

## 第一話（前書き）

家族は大事ですか？

家族をテーマにした30分で泣ける小説を書く作家Hikari

さんの小説出版のお手伝いをしています誠也です。

前作「大切な約束」で10万部のスマッシュヒットを出し

てから早2年。沈黙を経て再度夏ごろを目処に執筆再開

です。

ぜひ一緒にHikari小説&Hikarを盛り上げ

てください。

2007年・6月18日

公式携帯サイト【News cafe】ニュースカフェにて、  
掲載されました！！

無料サイトなので、拝見してみてください。

サイトURL:

<http://newscafe.ne.jp/>

## 第一話

「何のために生きているの？」

「家族を守るためだよ！」

「意味分かんないよ!!！」

少しピースの足りないパズルのような家だった。

父さんは元々仕事人間。ほとんど家庭を顧みることなんてなかった。何でもかんでも母さんにまかせつきり。

いつも仕事ばかりで、家に帰ってくるのは、いつも私が眠ってしまったあと。

とにかく忙しかった。

休みなんてなかった。

たまゝの休みは、いつも寝てばかり。

会話らしい会話なんてほとんどなかった。

母さんはそんな父さんの愚痴なんて、一切言わなかった。

口癖のように

「父さんは大変なんだよ」

「父さんは私たちのために頑張っているんだよ」

いつも言っていた。

私は不満だった。

父さんに聞いた事がある。

「どうして父さんは忙しいの？」

そしたら父さん笑って答えた。

「ごめんな。忙しくてごめんな。」ちよっと答えになっていなかった。

母さんにはよく愚痴を言っていた。

「父さん家にもいつも寝てばかりじゃん」

そしたら母さんもいつも笑って答えた。

「父さんは疲れているから、ゆっくりさせてあげなさい」って。

「父さんはあなたと私を守るために頑張ってくれているんだから、父さんに文句とか言っってはいけないんだよ」って

心の中ではいつも疑問符が浮かぶのだが、母さんに言われると、納得した振りをするしかなかった。だって大好きな母さんに言われるのだから……。

大好きな母さんとちょっとだけ好きな父さん、そして私。ちよつと不恰好だけど3人の幸せの形だった。

父さんが家にいない分、母さんはどこの家庭よりも私のことを守ってくれた。物凄く優しく、綺麗で、若くて、やさしくて、自慢の母さんだった。

特に料理は絶品だった。学校の行事に持っていく弁当は私がつとも優越感にひたれるときだった。可愛い弁当箱に色とりどりの料理きれいに盛り付けられた弁当は友達の間でもちよつとした注目だった。

母さんは小さい頃、貧しくて、弁当の時、いつも恥ずかしい思いをしていたらしい。だから娘の弁当だけは腕によりをふるって、最高なものを作るようにしてくれていた。

何もかも私中心に、考えてくれた母さん。そんな母さんがいたから父さんも好きと思えた。母さんがいたから父さんが、どんなに忙しくしていても、自慢の家族でいれたんだ。

だから、母さんの死は、体を突き抜けるような衝撃を受けた。あまりにも突然すぎる出来事だった。



## 第一話（後書き）

読んで頂いた方達へ、  
今後、活動にあたりまして、  
励ましの言葉、感想などありましたら、励みにしてゆきたいとおも  
います。

H i k a r i 実行委員

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1851c/>

---

「ごめん。～届かなかった手紙～」

2010年10月10日01時53分発行